

平成31年度 公益財団法人日本環境整備教育センター 事業報告

公益目的事業

1. 国家試験事業

(1) 浄化槽管理士試験（昭和60年より実施・通算36回）

平成31年10月27日（日）5会場〈5会場〉（宮城県、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施。

申請者 1,163 〈1,132〉名、欠席者 115 〈109〉名、受験者 1,048 〈1,023〉名、
合格者 213 〈197〉名、合格率 20.3 〈19.3〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

(2) 浄化槽設備士試験（平成23年度より実施・通算9回）

平成31年7月7日（日）5会場〈5会場〉（宮城県、東京都、愛知県、大阪府、福岡県）において実施。

申請者 892 〈985〉名、欠席者 77 〈184〉名、受験者 815 〈801〉名、
合格者 221 〈174〉名、合格率 27.1 〈21.7〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

2. 講習事業

(1) 浄化槽管理士講習（昭和 60 年度より実施・通算 523 会場）

- ① 15 会場〈16 会場〉（北海道、宮城県、東京都 6 回、新潟県、愛知県、大阪府 2 回、福岡県 3 回）において実施。

申請者 1,468 〈1,539〉名、受講者 1,462 〈1,535〉名、受験者 1,460 〈1,532〉名、
修了者 1,284 〈1,343〉名、修了率 87.8 〈87.5〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

- ② 再考査申請者 258 名、欠席者 13 名、再考査受験者 245 名、修了者 59 名、
修了率 24.1%

(2) 浄化槽設備士講習（昭和 60 年度より実施・通算 405 会場）

- ① 5 会場〈6 会場〉（東京都 3 回、大阪府、福岡県）において実施。

- ② 申請者 302 〈356〉名、受講者 297 〈350〉名、受効者 297 〈350〉名、
修了者 286 〈342〉名、修了率 96.3 〈97.7〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

(3) 浄化槽技術管理者講習会（昭和 61 年度より実施・通算 310 会場）

- ① 9 会場〈10 会場〉（宮城県、東京都 4 回、愛知県、大阪府、福岡県、沖縄県）
において実施。

申請者 677 〈696〉名、受講者 673 〈696〉名、受験者 673 〈695〉名、
修了者 649 〈651〉名、修了率 96.4 〈93.5〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

- ② 再考査申請者 25 名、欠席者 1 名、再考査受験者 24 名、修了者 3 名、
修了率 12.5%

(4) 浄化槽検査員講習会（昭和 61 年度より実施・通算 81 会場）

- ① 2 会場〈2 会場〉（東京都 2 回）において実施。

申請者 99 〈87〉名、受講者 99 〈87〉名、受験者 99 〈87〉名、
修了者 85 〈79〉名、修了率 85.9 〈90.8〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

- ② 再考査申請者 9 名、再考査受験者 9 名、修了者 4 名、修了率 44.4%

(5) 浄化槽清掃技術者講習会（昭和 60 年度より実施・通算 50 会場）

① 1 会場〈1 会場〉（東京都）において実施。

申請者 164 〈155〉名、受講者 164 〈153〉名、受験者 164 〈153〉名、
修了者 159 〈147〉名、修了率 97.0 〈96.1〉%

※ 〈 〉 内は前年度実績

② 再考査申請者 7 名、再考査受験者 7 名、修了者 0 名、修了率 0 %

2. 2 関連業務

(1) 浄化槽管理士免状の交付（昭和 60 年度より実施）

環境省との契約に基づき、浄化槽管理士台帳の作成及び浄化槽管理士免状の送付等を実施。

平成 31 年度 交付者数 1,532 名（交付累計 86,400 名）

(2) 浄化槽設備士台帳等作成（平成 29 年度（単年度）より実施）

国土交通省との契約に基づき、浄化槽設備士台帳の作成及び浄化槽設備士免状の送付等を実施。

平成 31 年度 交付者数 504 名（交付累計 89,023 名）

(3) 浄化槽管理士証の発行（昭和 61 年度より実施）

平成 31 年度 発行者数 725 名（交付累計 34,207 名）

(4) 講習会受講修了証明証の発行（平成 16 年度より実施）

平成 31 年度 浄化槽技術管理者発行者数 188 名（交付累計 3,761 名）

平成 31 年度 浄化槽清掃技術者発行者数 43 名（交付累計 1,202 名）

(5) 教材の製作

テキストの内容修正等

- ・ 各講習会テキストの修正

主に浄化槽行政データの更新（浄化槽設置基数や全国の水洗化率など）。

3. 普及啓発事業

(1) 全国浄化槽技術研究集会

平成 31 年 10 月 9 日(水)、「浄化槽の日」の関連行事の一環として、環境省、国土交通省、農林水産省、浄化槽の日実行委員会、全国浄化槽推進市町村協議会の後援を得て、秋田県秋田市「秋田キャッスルホテル」において第 33 回全国浄化槽技術研究集会を開催。(参加者 1,049 <1,407>名)

※ く > 内は前年度実績

① 全国浄化槽技術研究集会

浄化槽技術研究会会員、浄化槽行政機関の職員、学識経験者、関係業界等、浄化槽関係者が参加して、式典、浄化槽関係事業功労者環境再生・資源循環局長表彰贈呈、浄化槽研究奨励・楠本賞の贈呈及び公益財団法人日本環境整備教育センター理事長感謝状贈呈を実施。また、「浄化槽法改正と地方創生」というテーマで講演(演者：グローバルウォータ・ジャパン代表 吉村和哉)を実施。(参加者 574 <847>名)

※ く > 内は前年度実績

② 研究発表会

浄化槽等に関連する研究発表(16 <20>課題)を2会場で実施。

※ く > 内は前年度実績

③ 浄化槽検査員研究会

浄化槽検査員等、指定検査機関に所属し浄化槽の検査業務に従事する者を対象として、午前は浄化槽行政担当者研究会と合同で、環境省、国土交通省、農林水産省、総務省の各担当者からの行政報告、及び「秋田県における浄化槽行政について」、「持続可能な下水道運営に向けた秋田県の取り組み」の情報発表を実施。午後は2会場に分かれて、「浄化槽業務における労働安全衛生対策～浄化槽業務、ご安全に～」、「秋田県における浄化槽法定検査の状況及び浄化槽台帳整備の課題などについて」、「浄化槽の法定検査に関する調査検討業務について」、「浄化槽メーカーからの情報提供」の情報発表を実施。

(出席者 227 <250>名)

※ く > 内は前年度実績

(2) 浄化槽行政担当者研究会の開催

平成 31 年 10 月 10 日(木)、環境省、国土交通省、農林水産省の後援を得て、秋田県秋田市「秋田キャッスルホテル」において、全国都道府県・政令市並びに市町村協議会会員市町村の浄化槽行政担当者による第 41 回浄化槽行政担当者研究会を開催。午前は浄化槽検査員研究会と合同で、午後は 2 会場に分かれて、「田川市個人設置・公的管理型浄化槽設置整備事業」、「2019 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型浄化槽システム導入推進事業)」、「2018 年度市町村における浄化槽整備事業に関する全浄協への問合せ内容及び回答について」、「浄化槽の普及・啓発に関する取り組みについて」の情報発表を実施。

(出席者 248 <310>名)

※ < > 内は前年度実績

4. 研究助成事業

(1) 研究助成

浄化槽に係る技術の開発等に寄与することを目的として、その基盤となる学術研究及び調査について、大学、国公立研究機関及び公益法人研究機関等に所属する研究者を対象に助成を実施。平成 31 年度は 3 課題の申請があり、研究助成委員会において 1 課題を採択した。(昭和 62 年度から平成 31 年度までの助成課題申請総数 705 課題、採択課題数 174 課題)

(2) 浄化槽研究奨励・楠本賞

浄化槽に係る調査研究を奨励することを目的として、平成 30 年度全国浄化槽技術研究集会において研究発表されたもののなかから最優秀 1 課題、優秀 1 課題を選考し、平成 31 年度全国浄化槽技術研究集会において顕彰を実施。(平成 8 年度から平成 30 年度までの奨励課題数、最優秀 15 課題、優秀 42 課題)

最優秀：「福島県における小型合併処理浄化槽の破損及び補修の現状」

(発表者：棚木 康仁)

優 秀：「接触ばっ気方式を活性汚泥法様式に運転変更した高負荷流入対策の実例について」

(発表者：西岡 卓馬)

収益事業

1. 研修事業

(1) 浄化槽清掃実務者講習会（昭和 63 年度より実施・通算 163 会場）

4 会場 <3 会場>（福島県 2 回、栃木県、愛知県）において実施。

申請者 261 <274>名、受講者 257 名 <270>名、修了者 257 名 <270>名

※ < > 内は前年度実績

(2) コンパクト型浄化槽の清掃の実務に関する講習会

（平成 17 年度より実施・通算 50 会場）

3 会場 <2 会場>（茨城県、群馬県、愛媛県）において実施。

申請者 321 <196>名、受講者 312 名 <196>名、修了者 312 名 <196>名

※ < > 内は前年度実績

(3) モアコンパクト型浄化槽に関する講習会 I

（平成 25 年度より実施・通算 24 会場）

2 会場 <5 会場>（埼玉県、鹿児島県）において実施。

申請者 109 <343>名、受講者 109 名 <339>名、修了者 109 名 <339>名

※ < > 内は前年度実績

(4) 小型合併処理浄化槽保守点検・清掃の記録票に関する講習会

（平成 18 年度より実施・通算 30 会場）

1 会場 <1 会場>（東京都）において実施。

申請者 24 <31>名、受講者 24 <29>名、修了者 24 <29>名

※ < > 内は前年度実績

(5) 講師派遣等

国、地方公共団体、浄化槽関連団体等の講習会・研修会 56 <71>会場に対して講師等を派遣。

※ < > 内は前年度実績

(6) 浄化槽管理士に対する研修の機会の確保のためのテキストの作成

4 月に施行された改正浄化槽法で、各都道府県で定められている「浄化槽保守点検業者の登録に関する条例」の項目に、保守点検業の登録に際し、浄化槽管理

士に対する研修会の機会の確保に関する事項が追加された。その研修会において、環境省から示された全国統一的に講習すべき事項に基づき、一般社団法人全国浄化槽団体連合会と研修内容等の検討を行ったうえで、テキスト（教材）を作成した。

（7）実務セミナーの開催

継続教育の重要性と共に講習会修了者等のニーズに応えるため、平成16年度より実施。平成31年度は教育センターにおいて9回開催（参加者76<83>名）。地方開催は1会場実施（開催地 佐賀県、主催九州一般廃棄物協議会、参加者84名）。地方開催については、地元（浄化槽技術研究会賛助会員）の要望により開催（浄化槽技術研究会賛助会員の特典として、地元開催を可能としている）。

※ くゝ 内は前年度実績

○ 教育センター会場のテーマ

- ・ 処理機能の診断技術と評価方法（生物膜法）
- ・ 生物相からみた処理機能診断と運転管理技術
- ・ 凝集作用の原理と凝集試験
- ・ 生活排水処理計画の考え方と策定手法
- ・ 膜分離型浄化槽の構造と維持管理上の留意事項
- ・ 災害時における浄化槽被害等対策
- ・ 浄化槽のトラブル事例と対応策
- ・ 水質管理の意味、測定原理及び評価
- ・ 海外における分散型汚水処理の現況と水ビジネス

○ 地方開催のテーマ

- ・ 浄化槽のトラブル事例と対応策

2. 調査研究事業

（1）調査・研究業務

○ 環境省（浄化槽推進室）の調査等に関する業務

令和元年度浄化槽の法定検査及び浄化槽整備促進に関する調査検討業務

① 浄化槽の法定検査に関する調査

効果的・効率的な浄化槽法定検査体制の構築に向け、11条検査受検率の低い都道府県における受検率向上策、効率的な浄化槽台帳整備手法及び法定検査ビッグデータの活用方法について調査検討を行った。その結果、受験率が低い要因を明らかにし、対象の自治体に適した受験率の向上策を提案した。

浄化槽台帳については、新たに浄化槽台帳の整備を行う自治体に対し、作業内容やその留意事項等を示すことができ、ビッグデータの活用方法を提案するとともに活用に向けた課題について全国会議により指定検査機関と情報の共有ができた。

② 浄化槽整備促進に関する検討

浄化槽の整備促進を図るため、民間活用による浄化槽整備推進に関する調査検討、浄化槽市町村整備推進事業促進のための市町村担当者に対する情報提供を行った。その結果、浄化槽整備マニュアルの見直す事項を整理し、浄化槽整備促進の最適手法を提案することができた。また、これらの調査で収集した情報を、指定検査機関の全国会議で提供した。

③ 浄化槽設置費用に関する実態調査

市町村を対象とした費用調査を行い、設置に係る補助基準額に資する情報の整理を行った。その結果、設置費用の経年変化、処理タイプと設置費用の関係、新築あるいは転換ごとの工事費用の差異、地域や特殊工事等の差異による工事費用について整理することができた。

(2) 浄化槽技術支援業務【登録浄化槽審査受託事業】

① 登録審査 14 <9> 申請 (新規 10 <3>申請、更新 4 <6>申請)

② 実地調査 88 <126> 基 (新規 3 <30> 基、更新 85 <96> 基)

※ < > 内は前年度実績

3. 国際協力事業

3. 1 国際協力業務

(1) 研修協力

- ・ J I C A 課題別研修「下水道技術・都市排水コース」
- ・ J I C A 課題別研修「分散型汚水処理システム導入・普及」
- ・ J I C A 「中小企業海外展開支援事業－普及・実証事業－「浄化槽維持・管理技術の導入による生活排水処理水準向上」に係る本邦研修
- ・ 国立環境研究所「A S E A N 加盟国のための統合的分散型生活排水管理に向けた政策対話とネットワーク形成」プロジェクトに係る本邦研修

(2) 専門家派遣

中国四川省農業庁「農村における家畜糞便の資源化と生活排水処理モデル事業」に係る専門家派遣（中国、成都）

(3) 国際会議等における情報収集と情報発信

- ・ 「A D B I - B M G F - J S C 合同会議」（アメリカ、シアトル）
 - ・ 「Policy Dialogue with business leaders for accelerating sanitation SDGs」（東京）
 - ・ 「I W A 水と開発に関する国際会議・展示会」*（スリランカ、コロンボ）
 - ・ 「第16回 I W A 小規模上下水システム国際会議」*（オーストラリア、パース）
 - ・ 「第8回及び第9回 I S O / T C 224 / W G 8 専門家会議」*（デンマーク、コペンハーゲン；ポルトガル、リスボン）
- * 環境省「平成31年度浄化槽グローバル支援業務」による

3. 2 国際調査業務

(1) 平成31年度浄化槽グローバル支援業務（環境省）

日本のし尿処理・分散型汚水処理に関する情報発信及びアジア分散型汚水処理関係者とのネットワーク構築のため、ベトナムのハノイにおいて「第7回アジアにおける分散型汚水処理に関するワークショップ」を企画・開催した。また、現地調査（中国、スリランカ、オーストラリア、デンマーク及びポルトガル）を実施し、国際会議及び展示会に参加し、世界における汚水処理に関する情報収集と日本の浄化槽システムの情報発信を行った。

(2) JICA「中小企業海外展開支援事業－普及・実証事業－「浄化槽維持・管理技術の導入による生活排水処理水準向上（ベトナム）」

(国際協力機構、平成30年度より3ヵ年計画の2年目)

本事業は、我が国独自の小規模・分散型生活排水処理技術である浄化槽の適切な維持管理技術をベトナムに導入し、導入及び維持管理の両面で低コスト化を図ることで、ベトナムにおける浄化槽システムの本格的な普及及び定着を促進し、ベトナムにおける生活排水処理水準の向上に貢献する。本事業において、教育センターは外部人材として分散型汚水処理に関する法制度の整備・運用強化の必要性の提唱に関する活動などを担当している。

(3)「農村における家畜糞便の資源化と生活排水処理モデル事業」

(中国四川省農業庁、平成29年度より3ヵ年計画の最終年度)

本事業では、四川省農村地域における生活排水処理を適切に実施するため、日本の浄化槽導入を前提とした事前調査、実施計画の作成及び浄化槽のモデル設置を行うものである。平成31年度は、四川省農村汚水処理の行政担当者を対象とした研修会を実施し、浄化槽のモデル事業の実施対象地区において浄化槽2基を設置した。

(4)「AWaP参加国等を対象とした下水道普及方策検討業務」に係るパッケージ輸出の調査検討業務（オンサイトに係るもの）

(国土交通省事業、日本下水道事業団からの再委託)

本業務は、我が国の下水道分野における海外展開の可能性を高めるため、平成30年7月に設立したアジア汚水管理パートナーシップ(AWaP)の活動を通じ、カンボジア国とミャンマー国を対象とした下水道分野と浄化槽分野の連携したパッケージ輸出の調査検討を行った。

4. 公益目的事業推進事業

4. 1 浄化槽技術研究会業務

- ・ 浄化槽技術研究会（昭和61年、浄化槽に関する技術上の情報交換、発表を目的に設置）

構成メンバーは、個人会員 681 <686>名、賛助会員 52 <52>法人（令和2年3月末現在）。会員には「月刊浄化槽」の配布、センターの発行する書籍、実務セミナー参加料の割引を実施。

※ < > 内は前年度実績

4. 2 出版業務

(1) 機関誌「月刊浄化槽」の発刊・頒布

(2) 論文集「浄化槽研究」の発刊・配布

浄化槽に関する学術論文、調査報告等を「月刊浄化槽」において随時発表。(今年度掲載なし)〈前年度0報〉

(3) 各種講習会テキストの発行・頒布

(4) 新刊図書等の発行・頒布

新刊図書の発行なし

(5) 改訂版の発行・頒布

- ① 「登録小型合併処理浄化槽要覧 18年追補版」
- ② 「国家試験 浄化槽管理士試験問題 (H28～H30)」

(6) 既刊図書・頒布

- ① 「浄化槽の維持管理」
- ② 「小型浄化槽の構造および維持管理」
- ③ 「小型合併処理浄化槽維持管理ガイドライン」
- ④ 「浄化槽技術者の生活排水処理工学」
- ⑤ 「水の消毒」
- ⑥ 「浄化槽の機能診断と対策」
- ⑦ 「浄化槽用語事典」
- ⑧ 「浄化槽整備事業の手引 2018年版」
- ⑨ 「小型合併処理浄化槽保守点検・清掃記録票の解説と記入方法」
- ⑩ 「浄化槽のはなし」(普及啓発用パンフレット)
- ⑪ 「浄化槽ってなに」(普及啓発用パンフレット)
- ⑫ 「JOHKASOU SYSTEMS FOR DOMESTIC WASTEWATER TREATMENT 6th Edition」
- ⑬ 「浄化槽工学」
- ⑭ 「性能評価型小型浄化槽の概要」
- ⑮ 「性能評価型小型浄化槽の概要2」
- ⑯ 「国家試験 浄化槽設備士試験問題 (H23～H25)」
- ⑰ 「国家試験 浄化槽設備士試験問題 (H26～H28)」
- ⑱ 「国家試験 浄化槽管理士試験問題 (H28～H30)」

(7) 広報資料等の企画・配布、普及啓発活動

行政機関及び関係団体からの普及啓発資料掲載に関する転載許諾事務

4. 3 情報通信事業

(1) 情報検索システムの管理・整備

- ① 「月刊浄化槽」、「浄化槽研究」情報検索システムの整備を実施。
- ② 浄化槽技術研究会会員等の情報管理を実施。

(2) ウェブサイトの充実と活用

ホームページの拡充・整備を実施。

- ・ 新着情報の更新頻度の向上。
- ・ Google アナリティクスによる各ページの閲覧数、海外からの閲覧数等を把握。

4. 4 浄化槽CPD（継続教育）制度

未実施。

